

# 九州教育学会

## 第70回大会プログラム

2018年11月17日(土)～18日(日)

会場：南九州大学都城キャンパス

### 第1日目 11月17日(土)

- 8:30～9:00 受付開始 (南九州大学都城キャンパス1号館入口前)
- 9:00～11:30 自由研究発表 (南九州大学都城キャンパス1号館)
- 第1分科会…教育史……………1号館1101教室
- 第2分科会…教育社会学…1号館1103教室
- 第3分科会…教育方法……………1号館1203教室
- 11:30～13:00 ポスターセッション (都城キャンパス1号館1107教室)
- 11:30～13:00 昼食・休憩
- 13:00～13:50 総会 (都城キャンパス3号館2階)
- 14:00～17:30 総合部会 (都城キャンパス3号館2階)
- 18:00～20:00 懇親会 (都城グリーンホテル)

### 第2日目 11月18日(日)

- 8:30～9:00 受付開始 (南九州大学都城キャンパス1号館入口前)
- 9:00～10:00 ポスターセッション (都城キャンパス1号館1107教室)
- 10:00～12:30 自由研究発表 (南九州大学都城キャンパス1号館)
- 第4分科会…社会教育・教育社会学…1号館1101教室
- 第5分科会…比較教育学・教育哲学…1号館1103教室
- 第6分科会…教育方法……………1号館1203教室
- 12:30～13:30 昼食・休憩
- 13:30～15:30 ラウンドテーブル(南九州大学都城キャンパス1号館)
- I. 新任・若手教員の(学校組織マネジメント)力量開発の課題と新しい育成のあり方【1号館1103教室】
- II. 身体からの教育を問う【1号館1203教室】
- III. グローバリゼーションの中の学位・職業資格【1号館1208教室】

九州教育学会第70回宮崎大会準備委員会事務局

〒885-0035 宮崎県都城市立野町3764番地1 南九州大学都城キャンパス 山田研究室内

Email: Kyukyo70@yahoo.co.jp Tel: 0986-30-9001

<大会参加者の皆様へ>

## 1. 受付

受付は、第1日(11月17日)、第2日(11月18日)ともに、午前8時30分から行います。  
場所は、南九州大学都城キャンパス1号館入口です。

## 2. 大会参加費、懇親会費

(1) 大会参加費は次の通りです。受付の際にお支払下さい。

一般会員・一般臨時会員 3,000円、学生会員・学生臨時会員 1,500円

(2) 懇親会費

4,000円

※ 懇親会に参加される方は、第1日目の午前13時までには、会費を添えて受付にてお申込み  
ください。

## 3. 発表要領

(1) 自由研究発表時間

個人研究発表 25分(発表20分 質疑5分)、共同研究発表 50分(発表40分 質疑10分)

※ 発表者が1人の共同研究は、個人発表と同じ発表時間となりますのでご注意ください。

(2) 発表資料

発表資料は50部用意し、当日、発表部会スタッフにお渡しください。

## 4. 昼食

大会1日目、大会2日目ともに、大学生協食堂・売店はご利用できません。大学近郊の食堂や  
コンビニ等をご利用ください。

## 5. 会場

(1) 自由研究発表・ポスターセッション・ラウンドテーブル

都城キャンパス1号館1階、及び2階の教室で行います。

(2) 総会・総合部会

都城キャンパス3号館2階で行います。

(3) 懇親会

都城グリーンホテルで行います。奮ってご参加ください。

会場住所：宮崎県都城市栄町27-2-1(都城駅から徒歩5分、駐車場250台)

(4) 会員控室

都城キャンパス1号館「1107教室」及び「1105教室」にご用意しています。ご利用ください。

## 6. 交通案内

※ 詳細は、南九州大学 HP「アクセスガイド都城キャンパス」をご覧ください。

南九州大学 HP → 大学案内 → アクセスガイド都城キャンパス

※ 南九州大学都城キャンパス住所：〒885-0035 宮崎県都城市立野町 3764 番地 1

### 【南九州大学都城キャンパス アクセスガイド】

○都城駅～都城キャンパス : バス … 所要時間は約 17 分

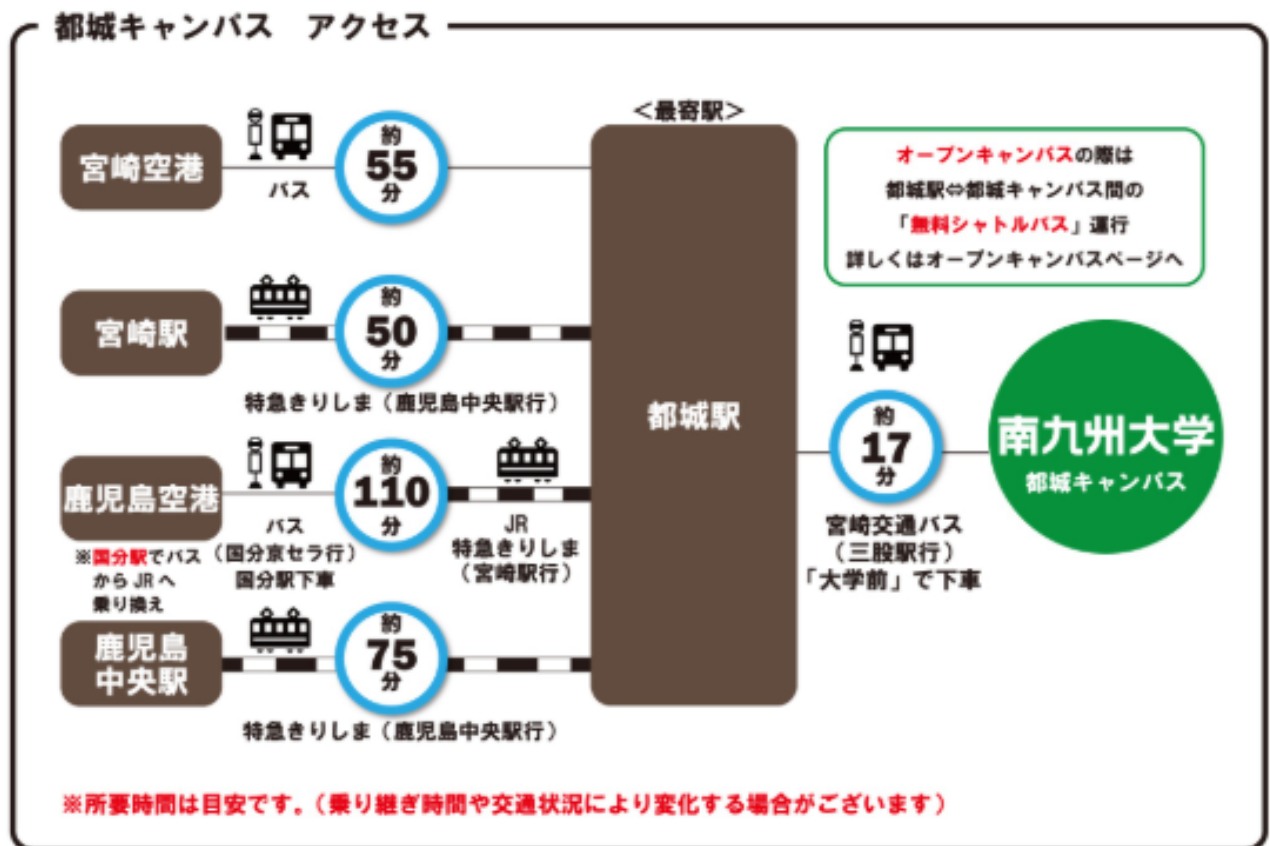
宮崎交通バス（三股駅行）「大学前」下車

■宮崎空港～都城駅 : 高速バス … 所要時間は約 55 分

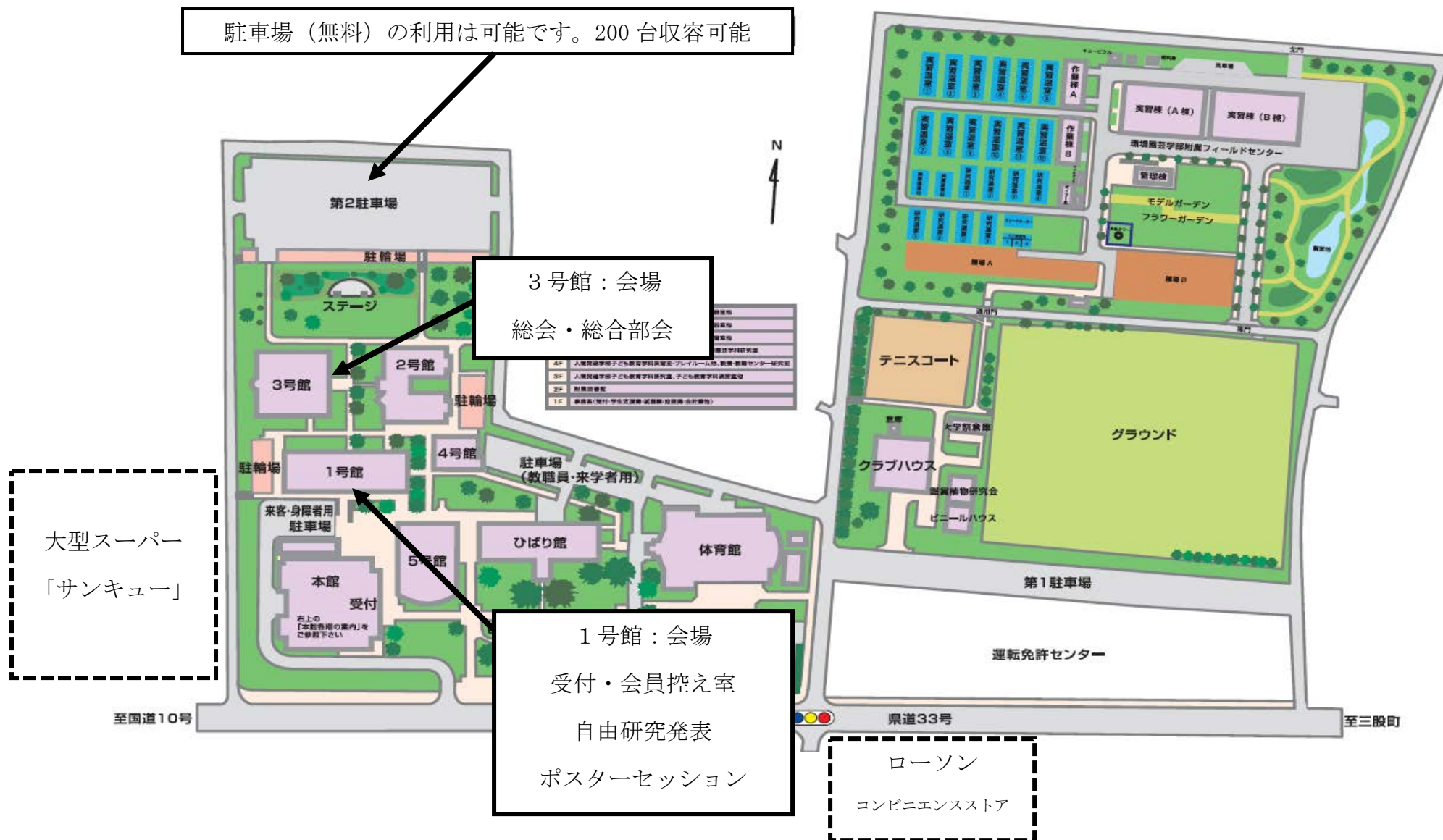
■宮崎駅～都城駅 : 電車 … 所要時間は約 50 分

■鹿児島空港～国分駅～都城駅 : バス&JR … 所要時間は約 110 分

■鹿児島中央駅～都城駅 : JR … 所要時間は約 75 分



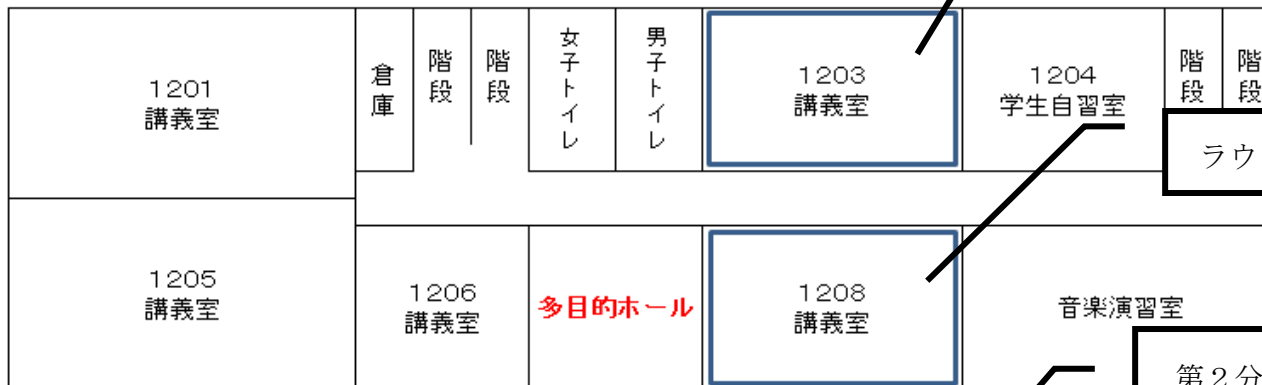
【南九州大学都城キャンパスマップ】



# 会場案内図

(受付、会員控室および自由研究発表・ラウンドテーブル会場)

第3分科会 : 17日  
 第6分科会 : 18日  
 ラウンドテーブルII : 18日



ラウンドテーブルIII : 18日

第2分科会 : 17日  
 第5分科会 : 18日  
 ラウンドテーブルI : 18日

第1分科会 : 17日  
 第4分科会 : 18日



会員控え室

事務局

ポスター会場 / 会員控え室

【第1分科会】1号館 1101 教室 教育史

司会：橋口 泰宣（宮崎国際大学）

①9:00－9:25

放送における「日本国民音楽の確立」－ラジオ番組『国民歌謡』（1936～1941）をめぐって－

佐藤 洋希（九州大学大学院）

②9:25－9:50

敗戦後広島における「戦争孤児」の育成活動－広島戦災児育成所（1945～1952）を中心に－

増木 風佳（九州大学大学院）

③9:50－10:15

満州産業開発5箇年計画と教育

高橋 潤子（九州情報大学（非））

④10:15－10:40

1920～1930年代上海における学校衛生教育

徐佳汝（九州大学大学院）

⑤10:40－11:05

統計的教育思想の生成－19世紀ドイツ道德統計論史から

山岸 利次（宮城大学）

〈11:05－11:30 総括討論〉

---

【第2分科会】1号館1103教室 教育社会学

司会：植村 秀人（南九州大学）

①9:00-9:25

中国の専門職大学院における学生の進路意識に関する実証研究

王佳（九州大学大学院）

②9:25-9:50

「発達障害」を抱える児童生徒を取り巻く現代的問題—シンボリック相互作用論の視点からの研究に向けて—

伊藤 慎吾（鹿児島大学大学院）

③9:50-10:15

デューイの「オキュペーション」における「教科」の役割

定方 太希（早稲田大学大学院）

④10:15-10:45

教師のカミングアウトを保護者たちはどう受け止めたか

眞野 豊（広島修道大学／日本学術振興会特別研究員）

⑤10:45-11:10

師範学校統廃合に関する一考察—鹿児島県第一・第二師範学校の事例を中心に—

小田 義隆（近畿大学）

〈11:10-11:30 総括討論〉

【第3分科会】1号館1203教室 教育方法学

司会：橋迫 和幸（九州保健福祉大学）

①9:00－9:25

臨時的任用教員の教職観の形成プロセスに関する考察—複線径路等至性アプローチ（TEA）による分析から—

小杉 進二（長崎県平戸市立生月中学校）

②9:25－9:50

学年教員組織の構築過程—危機管理の視点から—考察—

柳川 優希（長崎大学大学院）

③9:50－10:15

教育コミュニティ概念の批判的検討

川畑 和久（大阪大学大学院）

④10:15－10:45

戦後日本における日本語学校の創設

竹本 英代（福岡教育大学）

〈10:45－11:30 総括討論〉

---



**【総合部会】**                      **場所：3号館2階**

**時間：14:00-17:30**

**「特別の教科道徳」という不安／希望  
—「考え、議論する道徳」の行方—**

**登壇者**

**広田 照幸氏（日本大学）**

**松下 良平氏（武庫川女子大学）**

**新谷 恭明 会員（西南女学院大学）**

**司会**

**山岸 賢一郎（福岡大学） 雪丸 武彦（大分大学）**

道徳教育は、大きな変化の只中にある。1958年から実施されてきた「道徳の時間」は、いままさに「考え、議論する道徳」という理念を掲げる「特別の教科道徳」（「道徳科」）へと生まれ変わりつつある。道徳科は、小学校においては既に2018年度から完全実施され、中学校においても2019年度から完全実施される。

道徳教育をめぐるいままさに進行中の変化と、道徳科のこれからを、私たちはどう見るべきか。そして何より、私たちはどうしたら、「考え、議論する道徳」をよりよいものとして実現できるか。これらの問いに向き合うべく、九州教育学会第70回大会総合部会は、「特別の教科道徳」という不安／希望——「考え、議論する道徳」の行方——をテーマとして掲げる。本総合部会は、「考え、議論する道徳」を謳う道徳科に関わる不安と希望とを、真摯に吟味するための場である。この総合部会において、私たちは、「考え、議論する道徳」に関わる不安と希望とを、曖昧な不安に流されるのでもなく、安易な処方箋にすぎるのでもなく、より正確に、よりラディカルに、語り直してみたい。そのような思考と議論を通じて、よりよいものとして「考え、議論する道徳」を創っていくための示唆を得たい。

本総合部会に提案者として登壇する三名はいずれも、教育や道徳教育の過去・現在・未来について——教育の現状認識を批判しながら教育のこれからを論じ、道徳教育が本当に道徳的であるかを問い、民主的な社会を創る道徳教育の構想を語るなど——、鋭利で精緻な思索を紡いできた教育学者である。三名の提案者の議論を導きの糸として、「考え、議論する道徳」を謳う道徳科の行方について、私たち一人一人が、考え、議論しよう。本総合部会は、市民と教育関係者がともに論議する場である。多くの皆さんの参加を期待する。

【第4分科会】1号館 1101 教室 社会教育・教育社会学

司会：相戸 晴子（宮崎国際大学）

①10:00－10:25

文化施設における社会包摂の機能に関する考察—「劇場法」成立過程に着目しながら—

中山 博晶（九州大学大学院）

②10:25－10:50

千代夜間中学校よみかき教室の実践における「市民的公共性」形成に関する一考察

溝内 亮佑（九州大学大学院）

③10:50－11:15

韓国済州特別自治道における住民自治学校に関する研究

金子 満（鹿児島大学）

④11:15－11:40

語彙指導における概念地図法の効果の検討—軽度知的障害児を対象として—

立石 力斗（福岡教育大学大学院）

⑤11:40－12:05

結婚・妊娠・出産をめぐる労働紛争の言説研究—育児介護休業法成立以前の事件を中心に—

東野 充成（九州工業大学）

〈12:05－12:30 総括討論〉

---

【第5分科会】1号館1103教室 比較教育学・教育哲学

司会：橋迫 和幸（九州保健福祉大学）

①10:00－10:25

タイの沿岸国境地域における国立初等学校に就学する外国人児童－ミャンマー国境とカンボジア国境の比較－

○森下 稔（東京海洋大学）

平田 利文（大分大学）

②10:25－10:50

日本とフィリピンにおけるレジリエンスを高める価値教育の在り方－ナラティブ・アプローチの観点からの比較考察－

長濱 博文（桐蔭横浜大学）

③10:50－11:15

米国イリノイ州におけるテスト政策と公立学校民営化の進展

川上 具美（西南学院大学）

④11:15－11:40

叱責の効用 — 「自律を目指す教育」の基礎的過程に関する分析—

宮川 幸奈（熊本学園大学）

⑤11:40－12:05

ナラティブ教育の教育人間学的位置づけ・理論・応用—森昭、マックアダムズ、エプストンとホワイト—

SEVILLA Anton（九州大学）

〈12:05－12:30 総括討論〉

---

【第6分科会】1号館1203教室 教育方法

司会：植村 秀人（南九州大学）

①10:00－10:25

児童の学習の振り返り」についての一考察～総合的な学習の時間のポートフォリオの分析を通して～

溝上 敦子（九州大学大学院）

②10:25－10:50

「地方自治」をめぐる内容にみる戦前日本の中等学校における公民科の成立—態度形成と関わらせて—

釜本 健司（新潟大学）

③10:50－11:15

高等学校における「授業崩壊」を、いかに考えるか—3県3校の参与観察の比較検討を通して—

古庄 清宏（福岡県立朝倉高等学校）

④11:15－11:40

授業研究会に参加する教師の意識についての考察

江口 賢一（佐賀県多久市立東原彦舎西溪校）

〈11:40－12:30 総括討論〉

---

ポスターセッション：1日目（11月17日 土曜日） 2日目（11月18日 日曜日）

9:00～10:00 ポスターセッション（都城キャンパス1号館1107教室）

【ポスターセッション】1号館1107教室 1日目 11:30～13:00

【ポスターセッション】1号館1107教室 2日目 9:00～10:00

①レクレーションを活用した子ども・若者の社会参加の可能性

金子 満（鹿児島大学）

②新任・若手教師が抱える学校組織マネジメントに関する力量形成上の課題

元兼 正浩（九州大学）

原北 祥悟（九州大学大学院/日本学術振興会特別研究員）

柴田 里彩（九州大学大学院）

修娟（九州大学大学院）

③児童の自己指導能力を高める手立ての検討～「生活目標」設定を通して～

小鉢 拓（長崎大学教職大学院）

④子どもがつくる『弁当の日』実践における子どもと保護者の変容に関する一考察

稲益 義宏（九州大学大学院）

⑤校内研修・研究を通じた人材育成—授業スタイルの継承を目指した研究副主任と初任者の  
育成に焦点を当てて—

松本 俊也（大分大学教職大学院）

ラウンドテーブル：2日目（11月18日 日曜日）

【ラウンドテーブルⅠ】 1号館 1103 教室 13:30-15:30

新任・若手教員の（学校組織マネジメント）力量開発の課題と新しい育成のあり方

□企画者 元兼正浩（九州大学）

□話題提供者 元兼正浩（九州大学）

木村栞太（九州大学大学院）

藤岡博（宮崎県教育センター）

後藤郁子（お茶の水女子大学）

□企画内容

平成30年度教員の養成・採用・研修の一体的改革推進事業（文部科学省受託研究）の一環として進めている本調査研究では新任・若手教員を主たる対象に学校経営コンサルティングやOff-JT型で若手教員向けの研修を行うことにより、組織マネジメント能力開発を行い、その成果や波及効果を評価・検証することを目的としている。本ラウンドテーブルではその前提となる各県の教員育成指標の収集整理分析を行うとともに、地元・宮崎県の若手教員研修担当者から同研修の現状と課題を報告してもらうほか、エンゲストロームの拡張的学習理論をもとに初任教師の成長・発達を論じる研究者を招き、新しい育成論について議論する。

---

【ラウンドテーブルⅡ】 1号館 1203 教室 13:30-15:30

身体から教育を問う

□企画者 内山仁（福岡国際大学）

□話題提供者 藤田雄飛（九州大学）  
宮本聡（九州大学大学院）  
船原将太（九州大学大学院）  
塚野慧星（九州大学大学院）  
茂見剛（九州大学大学院）

□企画内容

本ラウンドテーブルは、教育学および教育実践、あるいはより広く私たちの生を巡る諸実践における「身体」の位置を問い直すことを目的としている。私たちは身体において世界に生きるのと同時に、この世界へと向かう存在でもあるが、こうした人間の生に密着した身体を語り出す作法を教育学の内部から再検討することは、子どもの生や教育実践を描き出すためにも不可欠の作業である。こうした関心のもと、本ラウンドテーブルでは理論研究、実践研究の各方面からの報告をもとに、議論を深めることとする。

---

【ラウンドテーブルⅢ】 1号館 1208 教室 13:30-15:30

グローバル化の中の学位・職業資格

□企画者 吉本圭一（九州大学）

□話題提供者 藤埴智一（宮崎大学）  
坂巻文彩（九州大学大学院）

□指定討論者 江藤智佐子（久留米大学）

□企画内容

一昨年、昨年と続けてきた「グローバル化と教育」の大テーマの下、今年度は、第三段階教育における学位・資格をキーワードに考察を進めたい。具体的には、主にヨーロッパや豪州および東南アジアにおいては、国際的に共通の学位・資格枠組み

（Qualifications Framework）への取り組みがみられる、これに対して、アメリカや日本においては、学修成果への関心は同様に高まっているものの世界的な教育改革動向とは直接連動しにくい独自の方向性が存在している。そのようなアプローチのグローバル化にかかると位置づけ、把握、さらに今後の日本の政策的課題の検討のために、マレーシアとアメリカを取り上げ、学位・資格について議論を深めたい。

---